



花粉の少ない森づくりを応援しよう！

森づくり支援倶楽部会報誌

24年度秋号

第16号

発行日：平成24年11月30日

- CONTENTS

【特集】読書の秋 ～本から東京の森林を考えよう～	1
企業の森活動報告（平成24年7月～11月）	3
森づくりミニ講座	5
森づくり支援倶楽部会員イベント報告	6

読書の秋

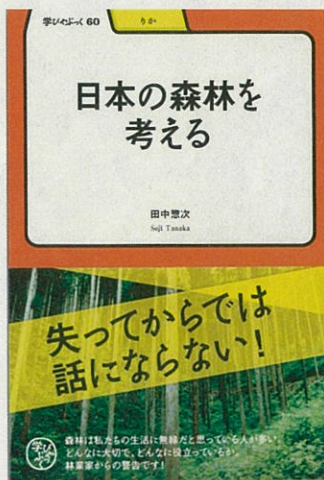
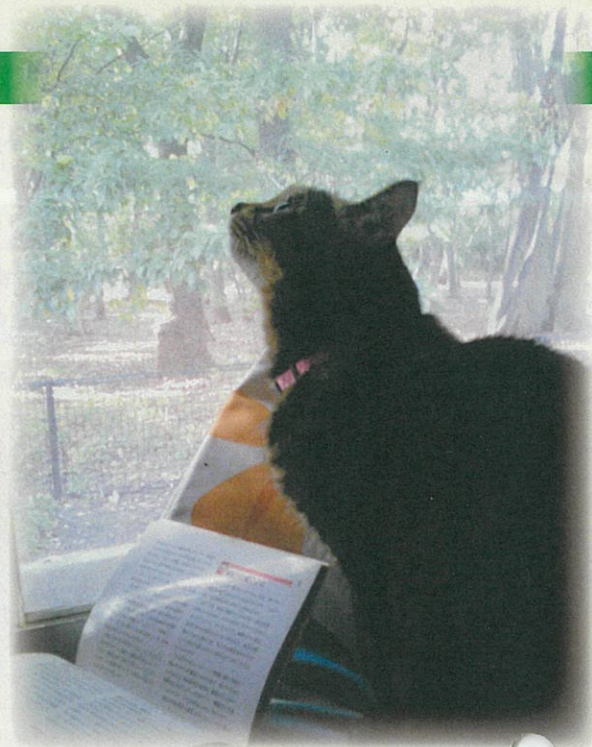
～本から東京の森を考えよう～

秋は行楽シーズン、多摩の森林も紅葉に染まり、奥多摩湖、御岳といった人気の行楽地は観光客で賑わいます。しかし、この時期でも緑のままの森林が随所にあります。そのほとんどがスギ・ヒノキの人工林です。

多摩の森林の約6割が人工林で、針葉樹であるスギ・ヒノキは紅葉しません。その視点で多摩の森林を眺めると、人の手入れが必要な森林が多く存在していることが分かります。

全国的にも人工林は様々な問題を抱えています。これらの問題を分かりやすく解説した本、また東京の林業が身近に感じる本をご紹介します。

美しい景観や癒しを与えてくれる森林。読後に訪れると、森林の違った一面も感じるができるかも知れません。



田中惣次 著 学びぶっく「日本の森林を考える」 〈明治書院 定価本体 1,200 円(税別)〉

研究者やジャーナリストではなく、現役の「林業人」が生声で書いた日本の林業と森林の現状。田中惣次氏は、檜原村で専業林業家として活躍しています。また「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会委員の一人でもあります。

林業の仕事内容や収入など実情が具体的に書かれており、「森林理解への入門編」とあるように林業を全く知らない人でも、分かり易く読むことができます。そして現在、日本の森林がおかれている危機的状況を改善するためにも、林業の復興を力説されています。

日本の森林は、十分な降水量と温暖な気候に恵まれた世界的にも貴重な森林です。地球上で数少ない、再生可能な資源として森林の価値の重要性が高まる中、しっかりとした長期的ビジョンのもとでの森林づくりを著者は訴えています。そして、今後の世界の森林の使われ方を視野に入れた時、植物の生育に適している日本の進むべき道は、資源政策的な面からも、「林業的手法」によって健全な森林を育み、そして「利用していく」ことだと提唱しています。



青木亮輔+徳間書店取材班 著 若者だけの林業会社、奮闘ドキュメント「今日も森にいます。東京チェーンソー」 〈徳間書店 定価本体 1,400 円(税別)〉

林業従事者は年々減少と高齢化が進み「断絶が危ぶまれる」とまで言われる林業の世界に飛び込んだ一人の若者、東京チェーンソー代表青木亮輔氏。奮闘ドキュメントとあるように、「東京チェーンソー」の旗揚げまでの過程と現在の活躍、そして林業マン青木亮輔氏にスポットをあて、「現在進行形で頑張っている姿」が書かれています。

林業就業者平均57歳*のなか、平均年齢30歳の若い彼らは、自然に関わる職業に関心が高まっているという時勢もあり、新聞、雑誌、テレビに取り上げられ注目されています。森でチェーンソーを響かせるアトラクティブな容姿が目いきがちですが、真摯に林業と向き合い、また地域に溶け込みながら日々奮闘している姿が伝わってきます。

あとがきには「目指すは子どもが憧れる林業マン。林業という仕事に誇りを持ち、社会にいい影響を与え、そして、しっかりと収入があること…。つまり一人前の林業マンです。一所懸命、丁寧に、目の前の木と山に向き合っていきたいと思います。」と、志を同じくする仲間達と今日も東京の森で活躍しています。

*「東京の森林・林業」より平成20年度平均年齢

新刊 水を守るに、森へ



水を養うはずの森でいま何が進行しているのか、
さまざまな難問を超えて、森林再生に挑む!

日本の森と水は、
意外なほど危うい

山田健 著

「水を守るに、森へ」地下水の持続可能性を求めて

〈筑摩書房 定価本体 1,500円(税別)〉

「水に生かされている企業が水を守るのは当然だ。」「サントリー天然水の森」は、社会貢献やボランティアではなく、天然資源に頼っている会社が資源の持続可能性を守るのは当然の義務とし「基幹事業」のひとつとしてスタート。この事業を立ち上げたのが、著者である山田健氏です。

サントリーの社員である氏は、コピーライターとして入社、環境や森林の専門外でありながら、様々な難問に取り組み目標の7000ha超えの森林整備事業を実現させていきます。専門性の高い内容ながら、ユーモアに溢れかつ分かりやすい解説で、読み進めることができます。しかしテーマのひとつひとつは重く、解決には長い道のりと「国土防衛」並みの対策が必要なることを示唆しています。

小説の執筆もある山田氏。文才山田氏のマジックで、読後「我が社も7000haくらい森林整備を行うか」と思わせてしまう、いや実際にそのような企業がひとつでも多くなることを「心より願ってやまない。」筆者の願いが伝わってきます。

～ 作者ゆかりの地で本の世界に浸ろう ～

森づくり支援倶楽部の協賛施設から、作家・漫画家ゆかりの施設をご紹介します

「吉川英治記念館」

「宮本武蔵」「新書太閤記」などで有名な歴史小説の文豪「吉川英治」。戦時中、疎開先として過ごした地に設立されたのがこの記念館。大作「新・平家物語」はこの地で執筆されました。収蔵品約300点を随時展示替えています。また手入れの行き届いた庭園は、四季折々表情を変えるので、訪れるたびに違った楽しみがあるのも魅力です。

・施設より

「当館は、吉川英治が約10年間を過ごした吉野村柚木（現青梅市柚木町）の旧宅の敷地内に展示室を設け、昭和52年に開館しました。ここは英治が敗戦の挫折とそこからの再生を経験した重要な場所です。

秩父多摩甲斐国立公園の豊かな自然の中、吉野梅郷の一角に建つ記念館では、英治の文業をその残した原稿や書画によって偲ぶことが出来るだけでなく、英治を癒した木々や野の花を味わうこともできます。」

住 所：青梅市柚木町1-101-1 TEL0428-76-1575 交通案内：JR青梅線二俣尾駅下車徒歩15分

定休日：月曜日（月曜が祝祭日の場合は翌火曜日）・年末年始（12/25～1/5）

営業時間：3～10月午前10時～午後5時（入館は4時30分まで）・11～2月午前10時～午後4時30分（入館は4時まで）

入館料：大人500円・中大学生400円・小学生300円（支援倶楽部の割引券利用：大人500円→400円）



「青梅 赤塚不二夫会館」

「天才バカボン」「おそ松くん」などで有名な日本を代表する漫画家「赤塚不二夫」。映画好きの氏が映画看板で町興しをしている青梅市住江町を知ったことが縁で設立された赤塚ワールドを楽しめるテーマ館。個性豊かなキャラクター達が出迎えてくれます。

・施設より

「この会館が訪れた人々にとって赤塚の作品がもつ“おもしろ元気”を感じ、遊び、そして今度は赤塚の持っているパワーをたくさんお持ち帰りいただける名所になることと、とてもうれしく思っております。」

住 所：青梅市住江町66 TEL0428-20-0355

交通案内：JR青梅線青梅駅下車徒歩5分

定休日：月曜日（火曜日へ繰り上げる場合があります）・年末年始

営業時間：午前10時～午後5時

入館料：大人400円小・中学生200円

（支援倶楽部の割引券利用：3館共通券（赤塚不二夫会館・昭和レトロ商品博物館・昭和幻燈館）700円→650円）



企業の森事業報告

第18号「日野自動車 70周年の森(御岳)」、第19号「企業の森・清和綜合建物(御岳)」協定締結

「花粉の少ない森づくり運動」の一環として、協賛企業・団体による継続的な森づくりを行う「企業の森」を実施しています。この度、新しく2つの企業が参加されましたのでご報告します。

9月12日に第18号となる「日野自動車 70周年の森(御岳)」の協定締結を、10月2日に第19号となる「企業の森・清和綜合建物(御岳)」の協定締結を執り行いました。

第18号の日野自動車株式会社は、1942年5月1日に設立し、今年で70周年を、第19号の清和綜合建物株式会社は、1957年10月1日に設立し、今年で55周年を、それぞれ迎えました。

両社とも創立記念事業として「企業の森」に、ご参加いただきました。今後約10年にわたり、対象地の森林整備費等の拠出や社員の方々による森づくり活動を予定しています。



◀ 日野自動車 70周年の森(御岳)



◀ 企業の森・清和綜合建物(御岳)

企業の森活動報告

企業の森事業を立ち上げてから今年で5年が経ちました。植樹してから数年経つフィールドでは、遠目からも苗木の存在がよく分かるようになりました。参加企業・団体の皆様が植えた苗木が、若い森へと成長していることが実感できます。

今年の7月から11月上旬にかけて12箇所の企業の森で森林整備活動が行われました。厳しい暑さ

のなか、主に下刈り作業を中心に行われました。

今年参加した「日野自動車 70周年の森(御岳)」においても、初めての活動が行われ、新たな森づくりがスタートを切りました。

企業の森の活動報告は、花粉の少ない森づくり運動メールマガジン及び当財団ホームページにて随時報告して参ります。

東芝府中・日の出の森

東芝労働組合 府中支部

7月14日(土)「刈払い・間伐・展望台製作・自然観察」

参加人数：20名

指導員：(特)青梅りんけん

組合員とその家族が参加して、刈払い及び展望台づくりが行われました。刈払いは、展望台周囲の急斜面を中心に行いました。

以前から取り組んでいる展望台づくりはいよいよ組み立てに着手。今回の作業で、りっぱな土台が完成しました。

親子を対象に昆虫観察も実施。日頃鑑賞で見ていた昆虫を網で捕まえ、大いに楽しんだ様子でした。



企業の森・公益社団法人青梅法人会(長淵)

公益社団法人青梅法人会

7月27日(金)「下刈り」

参加人数：22名 作業面積：0.11ha

指導員：(特)森づくりフォーラム

過去2回の植栽イベントを終え、今回は初めての下刈り作業。

真夏の日射しを浴び、熱中症も心配される中、慎重に作業を進めました。

しかし、普段から庭や畑の手入れをされている方が多いようで暑さ対策は万全、かつ鎌の使い方に慣れた方もいて、作業は順調に進みました。

閉会の挨拶では「私たちは歳を取りますが、この森はこれからの森です。楽しみに育てていきましょう。」と締めくくりました。



企業の森・東栄住宅(あきる野)

株式会社東栄住宅

8月29日(水)・9月1日(土)「下刈り」

参加人数：125名 作業面積：0.32ha

8月は54名、9月は71名が参加し、それぞれ0.16haずつ作業を行いました。両日とも社員の中から選ばれた班長が、各班をリードする方式で作業が進められました。

8月は厳しい暑さの中で、意欲的な若手社員が中心となり、広範囲の下草を刈ることができました。9月は荒れ模様の天気の中、わずかな雨の切れ間を利用し作業を行いました。予定より短い作業時間でしたが、足もとの悪いなか斜面に分け入り、生い茂る下草を刈り払いました。



企業の森・カナデン(青梅)

株式会社カナデン

9月1日(土)「下刈り」

参加人数：90名 作業面積：0.46ha

指導員：(特)森づくりフォーラム

今回、4度目の森林作業イベントで下刈りは2回目となります。これまでの経験を踏まえた事前の準備は大変周到なもので、班長を中心にグループの動きもスムーズでした。また、家族で参加しやすい体制を整えており、親子の姿も多くみられました。

当日は大変暑いうえ、ハチ除けネットを装着しながらの作業。「きついなー」の声に、冗談も交え明るく声をかけ合い、着々と作業は進み、終了時には生長した苗木がすっきりと姿を現しました。



東京都交通局・100年の森(青梅)

東京都交通局

9月8日(土)「下刈り」

参加人数：32名 作業面積：0.5ha

指導員：(特)森づくりフォーラム

昨年5月に植樹をしたフィールドで、初めての下刈りイベントを実施。植樹会に続いて参加したリピーターが多く、苗木の生長を見届ける機会となりました。

厳しい残暑の中、参加者は時折吹き抜ける風で涼みながら、まめに水分補給をし、作業に取り組みました。

作業は1時間程でしたが、気持ちのよい汗を流し、雑草木が刈り払われた林地を眺めて、充実感を味わっている姿が見受けられました。



企業の森・エムオーテック(あきる野)

株式会社エムオーテック

9月15日(土)「下刈り」

参加人数：27名 作業面積：0.1ha

協定締結後、2度目の下刈りイベントです。開始の挨拶では、社長から、会社を挙げて取り組んでいる社会貢献を皆で実現しようとの呼びかけとともに、この森の意義が説明され、森への深く熱い思いが感じられました。

背丈を越す雑草木があったり、ツルに覆われた植栽木があったりで、皆さん慎重に作業を進めていき、1時間弱の作業後には、

雑草に埋もれていた植栽木が姿を現しました。

最後に対象地全体を見渡せる場所へ。生長した木々を見て、次回参加への意欲も高まったようでした。



企業の森・NTTコムウェア(青梅)

NTTコムウェア株式会社

9月22日(土)「下刈り」

参加人数：45名 作業面積：0.6ha

今年2回目の下刈りイベントを行いました。

社内で結成している環境サポーターズが中心となり、森林作業イベントの企画運営を行っています。今回、作業統括リーダー、グループリーダー等、役割分担と細かな計画が立てられていました。当日は、暑さと日差しがやわらぎ、作業にはちょうど良い天候のなか、森林所有者の方々も作業に加わり、賑やかなイベントとなりました。時間内に予定していた全エリアの下刈りを終えました。

今後、環境サポーターズの活動が、森林ボランティアの裾野を広げていくことが期待されます。



企業の森・東芝(御岳)

株式会社東芝青梅事業所

9月22日(土)「下刈り」

参加人数：47名 作業面積：1ha

指導員：東京都森林組合

協定締結以来、今回で9回目の森林整備活動となります。前日までの猛暑が少し和らいだこの日は、2時間弱の本格的な下刈り作業となりました。暑さが和らいだとはいえ、急斜面を登りながら作業をすると汗がどっとふき出します。疲労の様子が見え始めた休憩時、「あと50分です!」の声に皆さん気力を奮い立たせ、その後も力を合わせて作業を進め、予定を大きく上回る範囲を下刈りすることができました。

森づくりによる社会貢献に引き続き力を注いでいくことを確認して閉会となりました。



企業の森・黒田電気(青梅) 黒田電気株式会社

9月29日(土)「下刈り」
参加人数：65名 作業面積：0.15ha
指導員：東京都森林組合



協定締結後、6度目のイベントとして下刈り作業を行いました。皆さんの精力的な作業進行で、早々と下刈り作業が終了。予定を追加し、頂上部の看板まで登って記念撮影を行いました。登りきったあとの素晴らしい眺望に、疲れも吹き飛んだ様子でした。

下刈りをしなかった方々は、東京の木を使ったお箸づくりを。早速お昼のバーベキューで使った方もいたようです。



日野自動車 70周年の森(御岳) 日野自動車株式会社

9月29日(土)「開始式・植樹」
参加人数：44名 作業面積：0.21ha
指導員：(特)森づくりフォーラム



今年9月に参加した日野自動車(株)は「HINOの基本理念」のもとCSR活動を社内に展開し浸透させる取り組みを推進しています。初めてとなるこのイベントでは多くの社員と家族が参加されました。作業の前に、看板の除幕式と記念植樹が行われました。急峻な斜面を背景に力強く立った看板の前に「森を育てるぞ!」の掛け声とともに開始されました。しかし、いざ植樹に取り掛かると、岩が多く一本植えるのにも大変な労力が必要でした。それでも、皆さん声を掛け合いながら、440本の苗木を植え終えることができました。



企業の森・いなげや(青梅) 株式会社いなげや

10月13日(土)「シカ柵作り・補植」
参加人数：80名
指導員：(特)森づくりフォーラム



協定締結以来、6度目の森林作業は、シカ柵作りと、40本の補植を行いました。

開始の挨拶では、植樹した苗がサクラを中心にシカの被害にあっている現状が紹介され、作業の意義を知った皆さんは、大変手際よく、速いペースで作業を進めていきました。終了時には20本近いサクラが竹柵で覆われ、効果が期待されるそうです。

開始と終わりの集合時には、社員をねぎらう企画なども用意され、和気あいあいとした雰囲気イベントを終えました。



企業の森・リコーロジスティクスグループ(御岳) リコーロジスティクス株式会社

11月10日(土)「植樹」
参加人数：51名 作業面積：0.15ha
指導員：(特)森づくりフォーラム



昨年の協定締結から2度目のイベントとなる今回は、300本の広葉樹を植え付けました。

絶好の行楽日和に恵まれたこの日は、渋滞で開始が遅れるというハプニングもありましたが、遅れを取り戻す勢いで意欲的に作業に取り組みました。このフィールドは、岩が多く掘ってもなかなか土が出てこない土地。「大変ですね…」と声をかけると、返ってきた答えの多くは「いえ!大丈夫ですよ!」の言葉と笑顔。皆さん本当に楽しまれていました。前回植えた木につけたネームプレートを見つけ生長を確認していました。



森づくりミニ講座

危険動植物

緑豊かな森林は、四季折々で豊かな表情を見せてくれます。特に、秋は紅葉や山菜狩りなどの楽しみもあります。しかし山には危険もあります。ハチやマムシ、かぶれる植物など注意が必要です。事前に対策し、山で楽しい1日を過ごしましょう。

一番怖いのはハチ! : ハチのシーズンは主に8~10月と言われています。涼しい時期になっても被害が報告されています。ハチに刺されないためには、巣の周辺に近づかないことが大原則ですが、ハチが反応を示す色やにおいを避けることで、より危険性を減らすことができます。

- ・ 黒い服装を避ける
- ・ 香水や化粧品、整髪料など強いニオイは避ける
- ・ お弁当のにおい漏れを防ぐ(「鶏の唐揚げ」は避けた方がよい)

ブヨ、蚊 : 蚊取り線香や虫除けスプレーで避けることができます。油断せず、事前に準備しましょう。

かぶれる植物 : ヤマウルシやツタウルシなどウルシ科の植物は触るとかぶれます。個人差もあり、まったく平気な人もいます。かぶれるとひどい場合は、水泡ができたり、また痛みが後々まで残ります。

- ・ 肌を守るために、長袖・長ズボンにしましょう。
- ・ 足首が出ないように、厚手の長い靴下、足首まである登山靴がお勧めです。



森づくり支援倶楽部イベント報告

森づくりイベント【植樹体験】in 東京マラソンの森（八王子）

- 日 時 : 平成 24 年 10 月 27 日(土)
10 時~ 15 時
- 参加人数 : 個人会員 15 名 法人 2 団体(7名)
チャリティランナー 2 名
- 指 導 員 : (特)森づくりフォーラム
- 作 業 : 植樹、ガイドウォーク
- 樹 種 等 : イロハモミジ・イタヤカエデ・
ナツツバキ・ コブシ
- 作業面積 : 0.28 h a



森林所有者とチャリティランナーの方々との記念撮影



広葉樹を植えました



チャリティランナーの方への
ケーブルテレビの取材風景

「東京マラソンの森(八王子)」※にて、森づくり支援倶楽部の植樹イベントが行われました。

時折晴れ間もののぞく秋空の下、当地で初めての植樹イベントが行われました。東京マラソンのチャリティランナーや家族連れをはじめとする参加者に加え、報道関係者など大勢の方々を迎えての開催となりました。

看板の除幕式の後、2つの班に分かれて280本の苗木を植樹。一部急な斜面もありましたが、参加者の意欲的な取り組みで、無事に植え終わることができました。お昼を挟んで午後は森のガイドウォークを実施。素晴らしい眺望とベテランガイドの詳しい解説が好評でした。また、帰りがけには道の駅八王子滝山に立ち寄りお買い物を楽しまれた方もいました。

参加者からは、苗木の生長を見に来たいという声や、東京の森林について考える良い機会になったという感想も聞かれ、充実の一日となりました。

※「東京マラソンの森(八王子)」は、(公財)東京都農林水産振興財団が、東京マラソン2012チャリティ“つなぐ”事業を通じていただいた寄付金を活用して森林整備を行っているものです。

東京マラソンの森ガイドウォーク



東京の銘柄豚、
トウキョウXが入ったお弁当

『東京うこっけいの卵』のお土産



この度はイベントにご参加いただき誠に有り難うございました。来年も森づくりイベントを実施する予定です。またのお越しをお待ちしております。今回ご参加出来なかった会員さまもぜひご検討ください。

花粉の少ない森づくり運動 P R 活動 報告

花粉の少ない森づくり運動では、事業を広く都民の皆様にご覧いただくため、年間を通じて様々なP R 活動を行っています。4月から11月までの活動をご報告します。

●6月19日 新宿区立市谷小学校

内 容：森のお話と東京の木のおはし作り

参加者：5年生児童 106名



林業の学習もする5年生に、東京の森をより身近に感じてもらうことができました。

●8月21日 青梅市新町市民センター

内 容：東京の木のおはし作り

参加者：青梅市内小学生 29名



お豆腐作りの体験とのコラボレーション。自分で作ったお豆腐を自分で作ったおはしで食べました。

●8月～9月 御岳登山鉄道株式会社

内 容：PRブースの展示と募金活動、
東京の木のおはし作りへのご協力



御岳山で夏に行われた「レンゲショウマまつり」期間中、様々なご協力をいただきました。

●10月20日 農林水産フェア

内 容：東京の木のおはし作り、丸太切り、
多摩産材キーホルダーへの焼き付け体験



財団の青梅庁舎にて行われた農林水産関係団体のお祭り！多くの方にご来場いただきました。

●その他、ご協力など

エコプラザ西東京：東京の木のおはし作り

武蔵野市水道部：むさしの環境フェスタでのパネル展示

多摩産材おはし作りキットやキーホルダー等、各種イベントや研修などでご活用いただけます。詳しくはお問い合わせください。

・花粉の少ない森づくり運動担当 ☎0428-20-8153

賛助会員のご紹介 ～私たちは、「花粉の少ない森づくり運動」に賛同しています～

賛助会員を随時募集しています！（年会費50,000円）
会費は、「花粉の少ない森づくり」に役立てられます！

立山産業株式会社

（本 社）
〒197-0011 東京都福生市福生 973
TEL：042-553-9111 FAX：042-553-9152
URL：http://www.tateyama-net.co.jp
E-mail：eco@tateyama-net.co.jp

“考えます木材流通を前向きに” 東京材木商協同組合

〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目19番8号
URL http://www33.ocn.ne.jp/~zaisho/
TEL (03) 3862-7081
FAX (03) 3864-9123

東京木材問屋協同組合

理事長 吉条 良明
〒136-0082 東京都江東区新木場1-18-8 木材会館
URL http://www.mokuzai-tonya.jp/
TEL：(03) 5534-3111 FAX：(03) 5534-7711

「東京の木の紙」のお問い合わせは

4030 株式会社 シオザワ

〒135-0004 東京都江東区森下1-3-12（第二営業部）
TEL.03-3634-4871 FAX.03-3634-4872
URL http://www.shiozawa.co.jp

新東京木材商業協同組合

理事長 長浦慎一
〒171-0044 東京都豊島区千早1-20-13
URL: http://www.zaimokuya.or.jp/
TEL:03-3959-7811
FAX:03-3958-3592

～木を育てたい。だから木を使おう。～ 社団法人東京都木材団体連合会

会長 吉条 良明
〒136-0082 東京都江東区新木場1-18-8
URL: http://homepage3.nifty.com/tomokuren/
TEL: (03) 5569-2211 FAX: (03) 5569-2233

多摩産材と暮らそう！
パネ協
日本住宅パネル工業協同組合
Japan Housing & Components Manufacturers Co-Operative
東日本支所
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-15-7
Tel:03-3947-7611 Fax:03-3947-7627
URL:http://www.panekyo.or.jp

公益財団法人東京都農林水産振興財団
森づくり支援倶楽部事務局
〒198-0036 東京都青梅市河辺町6-4-1 青梅合同庁舎3階
TEL：0428-20-8153 http://www.tokyo-aff.or.jp/club/index.html
E-mail：moriclub@tdfaff.com